

われらの道



令和5年4月25日発行

文責；附属中 萩原喜成

入学式・始業式

今年度の入学式は、4月7日(金)に144名の新入生を迎え、保護者も2名まで参加して実施しました。昨年度まで実施できなかった学級担任からの呼名もあり、アフターコロナに向けて少しずつ通常の実施が戻ってきました。新入生は、中学生としての決意があふれる返事をして、意欲と自覚が溢れる表情をしていました。

入学式終了後は、学級担任から中学校生活を始めるにあたっての話もあり、附属中学校での生活がスタートしました。早く中学校生活に慣れるとともに、自らの可能性が広がるように、何事にも積極的な挑戦を期待します。

4月10日(月)には、全校生徒が体育館に一堂に会して、新任式と始業式を行いました。3年ぶりに体育館に全校生徒を集めることができました。

新入生歓迎会

4月13日(木)には、新入生歓迎会が行われました。生徒会役員が中心となって、中学校生活には欠かせない生徒会活動の様子を紹介し、附属中学校への仲間入りを歓迎しました。会は、生徒会長の歓迎の言葉から始まり、応援団による新入生へのエール、



委員会活動や部活動の紹介を行いました。特に、部活動の紹介は、新入生の前で活動様子について各部で工夫した紹介を行い、新入部員の確保につなげようとしていました。

生徒会活動は、学園祭を含め学年をまたいだ縦のつながりも多く、社会性を身に付ける活動の1つでもあります。教職員も、中学校という「小さな社会」の中で、生きる力を身に付けられるよう応援します。

授業参観

各家庭1名という制限はありましたが、全学年で授業参観を行いました。生徒どうしの机の間隔を確保しているため、教室内で参観していただけた保護者の方は少なかったようですが、ドアや窓を外して廊下から授業の様子を見ていただきました。多くの保護者の方に参観していただき、生徒はもちろんですが、授業者も久しぶりに普段より緊張を感じる授業だったようです。

今年は、公開研究会を含めてできるだけ対面の活動にする予定です。駐車スペースや開始時と終了時の学校周辺の交通渋滞など、引き続きご協力をお願いすることもあります。また、保護者の皆様のお力をお借りする機会も増えるかと思えます。学校生活をより充実させるためにはご家庭



のご協力は欠かせません。学校と家庭が同じ方向を向いて取り組めますよう1年間よろしくお願い申し上げます。

転入教職員紹介

- 早川 健 (はやかわ けん) 校長/数学科
- 米山 卓 (よねやま たく) 3年/社会科
- 中沢 公士 (なかざわ まさし) 1年/理科
- 赤池 夏実 (あかいけ なつみ) 1年/音楽科
- 橋田 昇 (きった のぼる) 業務員

早川校長先生は、以前、附属小学校での勤務経験もあります。ご自身も附属中学校の出身であり、小中どちらにも勤務することになります。

「山梨大学教育学部附属中学校での皆さんの生活が、より充実し意義深いものとなるように、これまでの経験を生かして全力で頑張ります。何歳になっても、どんな立場であっても、常に『われらの道はここにあり』の気持ちを忘れることはありません。生徒の皆さんとともに成長できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。」